

今、株式投資に興味津々！

現在、銀行の定期預金は0.01%の利率です。つまり100万円を預けても1年間に100円の利息です。そのような低金利時代で、ある証券会社の「投資信託」を5,6年前に始めました。毎月定額のお金を投資すると、運用のプロが投資家から集めた大きな資金で株式や債券などに投資し、その利益を投資家に還元する金融商品です。

一般的に「投資信託」はそれほどの利益はありませんが、私の場合は毎月1万円投資して年に平均6,000円の利益でした。(6,000÷120,000で5%の利率)アベノミクスの恩恵でしょうか。

その前後、日本航空が破綻して再上場した時に応援するつもりで株を買いました。これが私にとって初めての株です。その後徐々に株価(株の値段)が上昇して、今や購入時の4倍になっています。毎年、株主優待券(正規の航空運賃の半額になる)や配当金(株価の1.5%)もあり小さな幸せを感じています。その後、全日空や他の会社の株も持つことになりました。

「投資はギャンブルだ！」という人がいますが、確かに株価が変動しますのでリスクはあります。損をしたくなければ銀行預金かタンス預金が良いでしょう。でも面白味がありません。

デイトレといって毎日画面の折れ線グラフの動き(株価の上下)を見て、安い時に買って高い時に売るのを繰り返してその差益を得る人もいますが、日常忙しい私にとっては不可能なことです。

私の株はその会社の運用資金を援助する意味での株なのでほとんど売り買いはありません。但し、条件として会社の業績(経常利益など)がしっかりしているかはチェックしています。

医療とは別分野ですが、**国内外の経済の動**

きや世界情勢が株価に対してかなり影響があることが分かってきました。

従って、株に興味を持つことは、世界情勢を把握することに繋がります。トランプ大統領が、中国製品に関税をかけるというと貿易摩擦の懸念のため株価が下がり、関税を緩和するというと急に上がったりします。「政治と株価変動」は、「経済と株価変動」に直結している事が理解できるようになりました。

唯、世の中が平穏であれば株価は安定しますが、少しでも不安材料が起これば不安定になります。それが先月10月に起きたのです。**株の暴落**です。私の**5年間の利益が一瞬にして無くなりました。**一時、目が点になりましたが元の投資額に戻っただけでしたから元金は残っている状況です。

慌てて株を売った人もいたと思いますが、私は会社の業績を信じて注視するだけでした。幸い11月に入って米国の中選挙が終わり徐々に株価が戻り始め、9月までの利益の2分の1まで回復しています。

最近ではテレビのバラエティ番組より日経の経済ニュースに興味に移り、国内外の政治、経済にも少し関心が持てるようになりましたので毎日が楽しみです。

今回、医師がお金のお話をしてはならないという暗黙の鉄則をぶち破った匿名医師の本「忙しい医師でもできる Dr.Kの株式投資戦略」(中外医学社)がとても参考になりました。(たまなは)

